

プレスリリース

Nr.40

ファイナルレポート

### 『Interzum ケルン国際家具産業・木材加工専門見本市』未来へのイノベーション

●130 カ国以上から約 4 万 7000 人の来場者 ●63 カ国から 1,370 社が出展 ●展展示面積は 5%増加 ●質の高い来場者 ●家具産業サプライヤー、内装業界の国際見本市としてのポジションを明確に証明。

出展者数と展示面積の増加、非常に質の高い来場者、これが、50 周年と言う記念の年を迎えたインターツムの成果だ。

130 カ国以上からやってきた約 4 万 7000 人の来場者は、63 カ国から出展した 1,370\*の企業の展示で、トレンドやイノベーションに関して情報を集め、出展した各社にとっては期待以上の成果だった。出展者の 70%以上、来場者の 65%以上は、外国（ドイツ以外）からケルンのこの見本市やってきた。「来場者の質が高く、見本市の国際性が高いことは、世界で主導的な見本市としてのインターツムの機能を、印象的に表しています。経済危機の中で業界は、この業界の主要見本市であるインターツムを支持しています。」と、ケルンメッセ経営最高責任者ゲラルド・ベーゼ社長は見本市を総括した。氏はさらに、「現在の経済や景気の状態が背景にあるからこそ、この見本市は記念の年にあたって、業界全体に対し大きなインパクトを持ち、現在の経済状況に対して、明確なメッセージを発信しました。」と述べた。この事は、ドイツのユリウス・ブルーム社の社長で、インターツムの専門委員会会長である、フーベルト・シュヴァルツ氏も認めている。「世界中から来た専門性を持つ来場者たちが、大きな関心を示したことは、インターツムが、国際的に認められた主要見本市であり、イノベティブな新製品発表の場として適切であることを示しています。記念の年となった今年のインターツムは、私たちの期待を完全に満たしてくれました。」

\*363 社に加え、ドイツから 42 社代理出展、外国からは 908 社が出展、代理出展は 57 社。

#### 素晴らしかった見本市の様様

ケルンのインターツムには、業界の主要な企業のほとんどが出展した。これらの企業は、世界の家具市場に向け、未来を見据えたソリューションや、コンセプトを展示した。これに呼応して、来場者は大きな関心を示した。多くの来場者が詰めかけ、展示ブースがいっぱいになったことに、出展者は満足していた。また、国際的な評判が全体として良好だったことも、非常に良い雰囲気を生み出した。

また、来場者たちが大きな決定権限を持っていたことに対しても、出展各社の多くが高く評価した。この評価は、来場者情報によって証明されている。来場者の 90%以上が、会社の購買業務に参画している。多くの出展者が、家具業界からの来場者に留まらず、他に、建築家、インテリアデザイナー、デザイナ

一、またエアバス、BASF、ルフトハンザ、ポルシェ、VWなどの自動車・航空産業からの来訪を得ていた。この来訪者たちはそれぞれの展示で、最新の製品に関する情報を集めた。

### 来場者の満足度

見本市に非常に満足したのは、出展企業だけでない。インターツムは、来場者も納得させてくれた。来場者に対するアンケートによると、来場者の80%は、来訪の目的が果たせたことに非常に満足、あるいは満足と答えている。「今回のインターツムは、これまで私が見た中で最高のものだった。」と、あるドイツの来場者は評価している。様々な製品が全体に幅広くカバーされたことにより、来場者の79%は、展示内容が非常に良い、または良いと評価した。このように、見本市の評価が一貫して良かったことから、来場者の91%は、2011年のインターツムの訪問を推奨すると答えている。

### 「インテリアのイノベーション」は良好な結果

今年のインターツムもまた、将来のトレンドを示し、業界が将来のビジョンを語る、情報交換の場になった。この事が特に明確になったのは、「インテリアのイノベーション」という新しいプロジェクトだった。このプロジェクトでは、イノベティブな素材や、意外な使用法がテーマとなった。出展者によるイノベーションに対して、もう一つ興味深かったのが、展示場ホールで開催されたトレンドショーや、講演フォーラムだった。ここでは、非常に多様な分野の専門家が、業界の色々なテーマに関して議論した。

また、イノベーションワークショップや、欧州化粧板会議、インテリアデザイナー会議などの、インターツム会期中のイベントも、大きな関心呼んだ。

### インターツムアワードにおける、未来志向のイノベーション

ケルンメッセはレッド・ドット社との協賛により、今年もこの業界における優れたイノベーションに対して、5回目となる「インターツムアワード：素材イノベーションとデザイン賞」を授与した。全部で42の製品が著名な審査員達によって選ばれ、インターツム期間中、特別展で展示された。

### トレンドのまとめ

インターツムは今年も、業界に対して世界のトレンドの概観を提供した。

・軽量プレートがトレンドに。接合・固定システムは市場化段階まで成熟し、軽量ハニカムプレートや、このプレートでできた家具の増加が予想される。軽量構造の家具は堅牢、省資源で、運搬も簡単。また、厚みのある外観もトレンドをとらえている。

・印刷可能な材質が増加。木工プレートも、無機質素材のプレートも、ガラス面も印刷が可能に。この技術の専門各企業は、小ロットでも印刷できる方法を開発。今の社会における個性追求のトレンドにより、多様化への要求が生じた。好きな模様を使った自分だけのキャビネットや、企業のロゴ入りの壁紙などが制作されるだろう。

・一般的に、家具業界のサプライヤーは、省資源や持続性に留意している。環境保護に関心のある顧客層は、増加している。この傾向にマッチするのが、省エネ効果のあるLED照明の、インテリアや家具分野への進出。

・インターツムの出展企業は、明日の、さらに未来の家具のビジョンを展示している。これに関して、電気モーターは重要な要素。引出しを動かすモーターとして、またはリクライニングソファの金具用のモーターとして、新しく開発される技術はすべて、エンドユーザにさらなる快適さと便利さを約束。

インターツム2009に関する最新の写真や、より詳しい情報、またハイライトやイノベーション、トレンドをまとめた2009ヒットガイドは、インターネットのホームページ [www.interzum.de/presseinformationen](http://www.interzum.de/presseinformationen) からダウンロード可能。

**次回 interzum 2011**  
**2011年5月25日から28日に開催**

インターツム、imm ケルン国際家具見本市、Orgatec オフィス家具見本市、spoga 国際スポーツ専門見本市、Kind und Jugend 国際ベビー・ヤング用品見本市 と、ケルンメッセには、インテリアデザインに関する最良の見本市があります。

**インターツム2009に関する業界からのコメントのまとめ**

**Resopal社 ドナルド・シェーファー社長**

「2009年のインターツムは、当社のイノベーション攻略のプレゼンテーションをするには、完璧なプラットフォームであることを実証した。ビジネスコンタクトが倍増したことや、来場者の質の向上がはっきりと感じられたことにより、当社の市場戦略のため、今後インターツムを国際的な主要メッセとして利用するという、当社の方針の正しさが確認された。」

**GRASS社 フランク・ネスラー社長、マーケティング/販売責任者**

「インターツム2009は、様々な観点から、私たちの期待以上のものだった。非常に満足している。来場者の数や質の素晴らしさは、十二分に納得できるものだった。」

**Häfeleグループ シビレ・ティーラー執行役社長**

「当社の展示ブースを訪れる来場者の数、特に外国からの来場者の数に、私たちは非常に満足している。ファシリティーや内装の施工業界からの来場者に関しても、非常に満足できた。インターツムは国際的なフォーラムであり、当社に合った見本市である。」

**Hettich グループ アンドレアス・ヘティッヒ 社長**

「インターツムは2009年も、国際的見本市であることを証明した。見本市の雰囲気は良好で、経済危機は見本市会場の中までは及んでいないようだった。」

**REHAU 株式会社+Co アンドレアス・アルビツヒ家具事業部長**

「インターツムは2009年も、業界のイノベーションの力や、業界の能力を示すことにおいて、期待以上の成果をあげ、家具業界のサプライヤー産業のための国際見本市という評価に、再び完全に答えた。当社は出展企業として、展示ブースへの来場者の数にも満足だが、そこで交わされた会談の内容に、大変満足している。」

**Schattdekor株式会社 ベルンハルト・ロイス 広報部長**

「非常に良いインターツムだった。喜ばしいことに来場者の質が高く、当社の展示ブースには、常に多くの来場者が訪れた。この見本市で、世界中の全ての顧客と会うことができた。見本市の雰囲気は常に良好だった。インターツムは、新製品の紹介の場であり、とにかく参加すべき見本市である。なぜなら、ここでは未来が展示されるから。」

**WESTAG &GETALIT株式会社 マルティン・コイザー産業・デザイン部長**

「非常に満足している。展示ブースには、ドイツや外国から、非常の多くの来場者が訪れた。また来訪者の質も非常に高かった。インターツム2009は、当社にとって素晴らしい見本市だった。」

**【お問合せ先】**

ケルンメッセ株式会社

〒105-0001 東京都港区麻布十番 2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル 7F

TEL : 03-5418-6245 FAX : 03-5418-6246

e-mail: [kmipn@koelnmesse.jp](mailto:kmipn@koelnmesse.jp) / URL: [www.koelnmesse.jp](http://www.koelnmesse.jp)